

會議筆記

大正二年五月二十九日

正

樞密院官制中改訂件
 關東都督府官制中改訂件
 朝鮮總督府官制中改訂件
 臺灣總督府官制中改訂件
 樞密院總督府地方官制中改訂件
 樞密院官制中改訂件
 明治三十九年勅令第百八十二號中改訂件
 明治三十七年勅令第百四十二號中改訂件
 商務官特別任用令廢止件
 專賣局職員特別任用令中改訂件
 稅務監督局及稅務署職員特別任用令中改訂件
 文部省督學官任用令
 文部省直轄諸學校校長任用令
 明治三十年勅令第三百五十五號廢止件
 明治三十年勅令第二百七十五號中改訂件
 明治四十年勅令第二百八十八號廢止件
 海防貯金局及地方通信官署職員特別任用令
 海防貯金局職員定員及任用令中改訂件
 電氣事務官及臨時發電水方調査局事務官特別任用令廢止件
 警視廳職員特別任用令
 道廳府縣警察部長及府縣警察部長特別任用令關スル件
 明治四十年勅令第二百七十四號中改訂件

国立公文書館

利用上の注意

樞密院會議筆記及び同委員會議録は、非公開の席上における発言を記録したものであります。したがって当該発言者の共同著作物と解されますので、引用等発表に際し著作権法上の問題の生ずることのないよう特に御配慮願います。

国立公文書館

分類

2 A

15-9

配架番号

①D 345

樞密院會議筆記

樞密院官制中改正、件
 關東都督府官制中改正、件
 朝鮮總督府官制中改正、件
 臺灣總督府官制中改正、件
 臺灣總督府地方官官制中改正、件
 樺太廳官制中改正、件
 明治二十九年勅令第百八十二號中改正、件
 明治三十七年勅令第四十二號中改正、件
 商務官特別任用令廢止、件
 專賣局職員特別任用令中改正、件
 稅務監督局及稅務署職員特別任用令中改正、件
 文部省督學官任用、件
 明治三十年勅令第百四十五號廢止、件
 明治三十四年勅令第百七十五號中改正、件
 明治三十四年勅令第百七十八號廢止、件
 為替貯金局及地方遊信官署職員特別任用令
 海關審判所職員定員及任用令中改正、件
 電氣事務官及臨時發電水力調查局事務官特別任用令廢止、件
 警視廳職員特別任用令
 道廳府縣警視廳警務部長及府縣港務部長特別任用令之件
 明治三十四年勅令第百七十四號中改正、件

大正二年五月二十九日午前十時四十分開議
聖上臨御不被爲在

出席員

議長

芳川副議長

大臣

山本總理大臣 六番

齋藤海軍大臣 七番

松田司法大臣 八番

原 内務大臣 九番

牧野外務大臣 十番

山本農商務大臣 十二番

高橋大藏大臣 十三番

奥田文部大臣 十四番

元田遞信大臣 十五番

顧問官

福岡顧問官 十八番

細川顧問官 十九番

九鬼顧問官 廿二番

杉 顧問官 廿三番

伊東顧問官 廿六番

金子顧問官 廿八番

末松顧問官 廿九番

清浦顧問官 三十番

南部顧問官 卅一番

加藤顧問官 卅二番

青木顧問官 卅三番

松平顧問官 卅六番

船越顧問官 廿八番

濱尾顧問官 廿九番

花房顧問官 四十番

周布顧問官 四十一番

菊池顧問官 四十二番

委員

岡野法制局長官

樞密院官制中改正ノ件

岡野法制局長官

松井外務次官

關東都督府官制中改正ノ件、明治二十九年勅令

第四百八十二號中改正ノ件、明治三十七年勅令第

四十二號中改正ノ件、商務官特別任用令廢止ノ

件ニ付

岡野法制局長官

水野内務次官

朝鮮總督府官制中改正ノ件、臺灣總督府官制中

改正ノ件、臺灣總督府地方官官制中改正ノ件、樺

太廳官制中改正ノ件、警視廳職員特別任用令、道

廳府縣警察部長及府縣港務部長、特別任用

關入ル件、明治四十年勅令第二百七十四號、中改勅正ノ件ニ付

岡野法制局長官

勝田大藏次官

專賣局職員特別任用令中改正ノ件、稅務監督局及稅務署職員特別任用令中改正ノ件ニ付

岡野法制局長官

福原文部次官

文部省督學官任用ノ件、文部省直轄諸學校長任用ノ件ニ付

岡野法制局長官

橋本農商務次官

明治三十年勅令第三百四十五號廢止ノ件、明治四十年勅令第二百七十四號中改正ノ件、及明治四十年勅令第二百十八號廢止ノ件ニ付

岡野法制局長官

犬塚遞信次官

為替野金局及地方遞信官署職員特別任用令、海員審判所職員定員及任用令中改正ノ件、及電氣事務官及臨時發電水力調査局事務官特別任用

今廢止ノ件ニ付

報告員

下岡書記官長

書記官

清水書記官

二上書記官

入江書記官

議長(芳川) 唯今ヨリ開會シ樞密院官制中改正

ノ件ヲ議題トシ第一讀會ヲ開ク朗讀ヲ省略

ス

報告員(下岡) 謹テ今回御諮詢ノ樞密院官制中

改正ノ件ヲ審査スルニ本件ハ這般ノ制度整

理ニ伴ヒ樞密院ノ經費ヲ節約スルカ爲顧問

官ノ定員四人ヲ減シ現任者ニ限りテ定員ノ

改正ニ拘ハラス在任スルモノトシ且ツ議長

秘書官ハ專任ヲ廢シ書記官ヲシテ之ヲ兼テ

シムルノ制ト爲サントスルモノニシテ已ラ

得サルモノト認ムルヲ以テ此儘可決セラレ

然ルヘキモノト思料ス

右謹テ審査ノ結果ヲ報告ス

廿九番(末松) 今日ノ諸件ニ關シ冒頭ニ於テ大體ノ説明ヲ聞度シ今回ノ行政整理ニ付テハ其當否ニ關シ種種ノ論モアラムカ本負ハ諸大臣ノ勞ヲ多謝ス今回ノ整理ニ關スル政府ノ大體方針ヲ聞クコトヲ得ハ各箇ノ議案ニ付テハ別ニ議論セス議事モ速ニ進行セム

委員(岡野) 唯今末松顧問官ヨリノ質問ニ付テハ小官ヨリ答辯スルハ如何ハシクモ考フレトモ職務上關係多大ナリシ事項ナルヲ以テ

小官ヨリ陳述セム行政整理ハ朝野ノ宿題ニシテ西園寺内閣ニ於テモ専心之カ解決ヲ勉メタリシカ遂ニ之ヲ實行スルコトヲ得ス前内閣ニ於テモ均シク之カ實行ヲ聲明セシモ其實行ヲ見スミテ内閣ノ更迭アリタリ現内閣ハ前前内閣ニテ計畫シタルモノニ基キテ之ヲ行フコトトシ所得税ノ改正ハ今年ヨリ之ヲ實施シ米穀輸入税ノ撤廢ハ來ル七月一日ヨリ之ヲ實行シ塩價ノ引下モ本年度ヨリ之ヲ實行スルコトトナリタルニ付テハ其財

源ヲ要スルヲ以テ前前内閣ノ定メタル三千
七百萬圓ヲ基礎トシ諸大臣ニ於テ銳意整理
ニ勉メ右以上ノ節約ヲ爲ス目的ヲ以テ急カ
レ其中既ニ實行ヲ遂ケタルモノモアリ各省
ニ互リテ廣ク官制ノ改正ヲ行フニ至リシナ
リ今日ノ案ハ主トシテ之ニ伴フ特別任用令
ノ改廢ナリ今回ノ整理ハ前年度ノ豫算ヲ基
礎トスル本年度豫算ニ依ルモノニシテ既定
豫算ノ範圍内ニテ整理スルコト故ニ新ニ豫
算ヲ編成スル場合ニ比シ為シ能ハサルコト

モアリ今回整理ノ重ナル點ヲ擧ケレハ内閣
所管ニ於テハ拓殖局ヲ廢シ其事務ノ中關東
州ニ關スルコトハ外務省ニ其他ノ殖民地ニ
關スルコトハ内務省ニ移シ外務省ニ於テハ
取調局ヲ廢シ内務省ニ於ケル宗教局ハ之ヲ
文部省ニ移シ大藏省ニ於テハ國債局ヲ理財
局ニ關稅局ヲ主稅局ニ併セ十三ノ稅務監督
局ヲハニ減シ司法省ニ於テハ民事刑事兩局
ヲ合シテ法務局トナシ裁判所ニ付テハ先般
裁判所構成法中改正ノ件判事檢事ノ休職ニ

關スル件御審議ニ依リ既ニ御承知ノ通ナリ
文部省ニ於テハ實業學務局ヲ專門學務局ニ
圖書局ヲ普通學務局ニ併セ宗教局ヲ設ケタ
リ農商務省ニ於テハ商務局ト工務局トヲ併
セテ高工局トナシ且大林區署ノ數ヲ減シタ
リ遞信省ニ於テハ經理局及臨時發電水力調
査局ヲ廢シ十三ノ遞信管理局ヲ五ノ遞信局
トナシタリ右ハ唯著シキ點ノミニシテ其他
諸種ノ官制ニ於テ職負ノ數ヲ減シタルコト
著シ大體ノ見込ハ高等官六百ノ判任官三千

人ヲ減スルコトトナルヘシ尚詳細ノ點ハ御
質問ニ應シテ答ヘム

十三番(高橋) 今回ノ改正ニ依テ得ル所ノ金額
ニ付御尋アリシカ法制局長官ヨリ御答セシ
如ク三千七百萬圓ヲ基礎トシ其ノ以上ニ減
額ヲ努メタリ即右三千七百萬圓中ニハ陸軍
省所管ノ整理ヲ含マヌ之ヲ合スレハ一ヶ年
度ノ通算五千百四十餘萬圓ニシテ大正二年
度ノ實際節減額ハ約四千七百萬圓ナリ之ヲ
詳説スレハ

歳出一个年度節減三千八百萬圓

同大正二年度實行額三千五百萬圓

内

經常部一个年度一千二百萬圓

同大正二年度實行額九百六十萬圓

臨時部一个年度二千五百萬圓

同大正二年度實行額二千四百萬圓

ナリ而テ右臨時部中ニ於テ

普通費ニ依ルモノ一个年度八百三十五萬圓

同大正二年度實行額七百九十二萬圓

繼續費ノ繰延ニ依ルモノ一个年度一千六百八十二萬圓

同大正二年度實行額一千六百七十七萬圓

ナリ

右ノ如クシテ節約シ得ル經費ハ歳入ノ増加

ヲ合シテ前前内閣ノ計畫ハ三千七百萬圓ナ

リシカ今回ハ更ニ陸軍ノ整理額ヲ通算シ一

个年度五千百四十五萬圓大正二年度實行額

四千七百八十萬圓ノ整理ヲ行ハムトスルナ

リ

議長(芳川) 異議ナクハ第二讀會ニ移ル

(三上書記官朗讀)

勅令第 號

樞密院官制中左ノ通改正ス

第二條中「二十八人」ヲ「三十四人」ニ改ム

第五條 樞密院ニ議長秘書官ヲ置ク奏任トス

議長秘書官ハ書記官ヲシテ之ヲ兼ホシム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ樞密顧問官ノ職ニ在ル者ハ

其ノ定員ノ改正ニ拘ラス在任ス

議長(芳川) 異議ナクハ第三讀會ニ移ル採決セ

△本案賛成ノ諸君ハ起立ヲ乞フ

(全會一致可決)

○

議長(芳川) 次ニ關東都督府官制中改正ノ件朝

鮮總督府官制中改正ノ件臺灣總督府官制中

改正ノ件臺灣總督府地方官官制中改正ノ件

樺太廳官制中改正ノ件ヲ一括シテ議題トシ

第一讀會ヲ開リ朗讀ヲ省略ス